



企業における基幹性

令和7年6月30日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

これらは正しい基幹的な企業の理念とルールであると考えます。これらは最も健全な企業経営を与え、それが結果を与えるものであるからである。

これらは高い意識であり、正しい企業のルールである。これが健全な労働意欲を与え、正しい企業経営の実現を与えるのである。

これらは正しい倫理的基幹性を企業が求めるとき、企業経営が最も優れたものとして自己を与えることができるのである。

これらが創造性や時代性を自己とすると、その無限の可能性への挑戦を求めることができるのである。これが企業の飛躍なのである。

これら基幹性が企業経営の基盤として優れるのである。これらは経営者における高い意識がそれを可能とするのである。

これらは時代先端性の吸収や実現、新たな開発ビジョン、企業経営における世界のトップ基準の受け入れなどにおいて、企業を求めるとき、その自己現実の飛躍的な向上を模索できるのである。

またこれらが独創性の基盤であるならば、自己の進捗において未来を求めるとき、企業は自己の企業哲学を有するのである。

また経営者が理想や目標を有することはその実現を可能とできるのである。計画と行動はその分析と解析においてそれらを実現できるのである。

これらは優れた労働意欲と環境を与え、その企業風土が未来を可能とできるのである。

これらは唯一経営者の判断において実現できるものであり、自己が模範としてそれを行うことが企業にそれを与えることができるのである。